

【研究に関する情報】

研究課題名	小児がん患者の施設連携を利用した陽子線治療の安全性に関する研究
研究責任者	<所属(診療科等)> 長野県立こども病院 血液腫瘍科 <職名・氏名> フェロー ・ 古井優
研究期間	(施設長承認日) ~ 2024年3月31日
研究の目的	施設連携を利用した化学療法併用陽子線治療についての安全性を後方視的に評価し、小児がん患者に有用な陽子線治療を提供するための知見を深めることが研究目的です。
研究の方法	<対象となる患者さん> 2015年8月から2021年8月に長野県立こども病院血液腫瘍科、信州大学医学部附属病院小児科、相澤病院陽子線治療センターの連携を利用し、化学療法と陽子線治療を同時に実施した症例を対象群とします。また、長野県立こども病院血液腫瘍科で化学療法とX線による放射線治療を実施した症例をコントロール群とします。 <利用する試料および情報> 診療録より、年齢、性別、診断名、治療中の感染予防策、好中球減少の程度、好中球減少の期間、感染症の頻度、陽子線治療中断日数、化学療法遅延日数を抽出し、対象に示した群間で比較を行います。また、治療関連の有害事象以外の有害事象について評価します。
問い合わせ先	この研究への参加は任意です。あなたの自由な意思が尊重されます。上記の研究に試料または情報を利用することをご了解いただけない場合は、下記へご連絡ください。 なお、研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。 <当院における研究責任者> 社会医療法人財団慈泉会相澤病院 陽子線治療センター 陽子線治療センター長 荒屋 正幸 〒390-8510 長野県松本市本庄 2-5-1 電話：0263-33-8600 (代)

